

市長から

本市には、現在さまざまな面で注目が集まっています。まず、錦海塩田跡地の取得についてです。市内外から多くの問い合わせがあり、関心の高さがうかがえます。今後、まちづくりの中心的課題として取り組んでいきたいと考えています。

そのために、12月1日から、まちづくり推進課の課内室として「錦海プロジェクト推進室」を設け、地元市民をはじめとして、関係団体、国、県、本市関係課などと連携しながら、錦海塩田跡地問題解決を専門的に行う体制をつくりたいと考えています。

次に、「瀬戸内市バイクビズ」も先進的な取り組みとして注目されています。健康の維持やCO2の削減

に寄与するとともに、通勤・通学をはじめとした市民の身近な交通手段として、また、本市を訪れた観光客の足として、より安全に自転車を利用できるまちを目指していきたいと思えます。

このほか、「瀬戸内牛窓国際交流フェスタ」「瀬戸内市商工会産業まつり キラリンフェスティバル」など、本市の魅力発信が進められつつあります。これらの情報発信の力は、大きな成果となってやがて現れてくると思います。

③調べてもらい、④瀬戸内市を訪れたり、定住してもらい、⑤瀬戸内市の良さをさらに共有、発信してもらおう、といっ

た流れをつくっていききたいと思えます。

当面は①②の段階が多いかもしれませんが、徐々に③④⑤の段階を生み出していききたいと思えます。本市は、瀬戸内海という世界にも類を見ない美しい海に恵まれ、誇れる文化、歴史など多くの地域資源に恵まれたまちです。市の魅力をさらに高めながら、瀬戸内市に住むことが誇りに思えるまちづくりを、市民とともに進めていきたいと考えています。このことよって、新しい総合計画（案）で掲げる「人と自然が織りなす しあわせ実感都市瀬戸内」の実現を図っていきます。

来年度の予算編成の時期を迎えています。予算編成においては、昨年同様、今後迎える交付税の削減などに対応す

るため、財政運営適正化計画に基づき、さらなる経費の削減に取り組むことを目的としつつ、今取り組みなければならぬ将来への投資は積極的に行う姿勢で臨みます。

予算編成に当たっては、効果の上がない新規事業、継続事業の廃止、「優れた先進的取組の調査」「関係課との事前調整」とともに、本年度から、それぞれの部に一般財源の枠を設定したこと。それぞれが、より経営感覚を発揮し、創意工夫していきける組織をつくっていききたいと思えます。

合併特例債の活用が平成26年度までの期限とされる中、受益と負担の関係をより意識しながら、何を行い、何を削減するかを十分に検討した上で、新年度の予算編成に臨みます。

戦略会議の進捗状況

新病院建設のために設置した「新病院建設構想検討プロジェクトチーム」では、病院事業部に設置された検討委員会と連携を図りながら検討を進めています。これまでに毎月1回、計7回の会議を開催し、主に新病院の機能および規模、地域包括ケア実現のため求められる機能および規模、建設候補地、経営形態などについての協議を進めています。今後さらに数回の会議を開催し、新病院建設に関する基本構想を策定したいと考えています。

新図書館の整備については10月に「新図書館整備検討プロジェクトチーム」を設置しました。10月に第1回目の会議を開催しましたが、第2回目からは、外部からアドバイ

ザーを招き、市民が身近に利用できる図書館建設に向けての協議を進め、本年度中に新図書館建設構想をまとめることとします。

生活交通システムについては、10月に「生活交通システム検討プロジェクトチーム」を設置し、11月4日に第1回目の会議を開催しました。今後は、外部のアドバイザーを招いて協議を進め、実態を把握するとともに、本市に合った生活交通の仕組みを考えていきます。

牛窓国際交流ヴィラ

牛窓国際交流ヴィラは、平成20年度の岡山県財政構造改革プランにより、現在閉鎖中です。その後、岡山県において、本市および土地の所有者である日本オリーブ株式会社と今後の活用について協議を進め、このたび、県の費用で施設改修を行った上で、本市に無償譲渡したいとの申し出がありました。



岡山県から譲渡される牛窓国際交流ヴィラ

経費、管理方法などについて検討を重ねた結果、指定管理者制度を活用するなど、市の負担を極力減らし、民間活力を積極的に活用した地域の国際化を促進する施設として運営するため、県からの申し出を受けることとしましたので、ご理解をお願いします。

市分譲宅地の販売状況

「オリーブ団地牛窓」は、7月17日から19日までの現地説明会を手始めとして販売を開始しました。

新聞折込チラシ、専門誌への掲載、インターネットなどによる広報活動や、定住促進

補助金制度の新設などの効果もあり、11月10日現在で「オリーブ団地牛窓」は10区画、「東町ひまわり団地」は1区画、合計11区画の販売が成立しています。

オリーブ団地については、擁壁工事が完成したことにより、12月を目前に第2期販売を開始します。これと並行して不動産業者との媒介契約締結など、民間活力を導入し、より一層の販売促進を図りたいと考えています。

ごみ30%減量作戦

ごみ減量への取り組みについては、毎月広報紙折り込みの「ごみダイエット通信」によりお知らせしているところですが、10月の集計結果では、1人1日のごみ排出量の基準値である78.2gから46gの削減となっており、減量率は5.9%でした。

また4月から10月までのごみ総排出量は、昨年度と比較すると約380tの削減となっており、徐々にごみ減量

が進んでいます。

今後、ごみ30%減量作戦プロジェクトチームなどで検討しながら、ごみ減量を推進していきます。

3ワクチン接種

子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンについて、国は、対象年齢層に対し緊急的に接種機会を提供する必要性があると判断し、3ワクチン接種の実施に係る法的整備を進めるとともに、その促進を図るための基金を都道府県に設置する方針です。

本市では、今後の国の動向を見極めつつ、該当年齢の対象者に対する3ワクチンの予防接種について、医師会など関係機関の協力を得て実施します。

市道南北線道路新設

市道南北線道路本線の工事は、法面工などの工事が8月に完成し、引き続き舗装工



完成が近い市道南北線道路

事などを行っています。長船町土師から邑久町北池および邑久町北池から邑久町山田庄までの約2.9キロの区間は、7月に工事を発注していますが、これまでに舗装工事がほぼ完成しています。また、邑久町山手から県道瀬西大寺線までの1.5キロの区間についても、10月に舗装工事を発注しており、本年度末には完成の予定となっています。

このほかにも市道南北線に接続する宮下線、北池2号線、山田庄山手2号線の3路線の接続道路についても、本年度末の完成を目指し順次工事を進めています。